

こっこめ通信 12 2016

「初記録は良い事も悪い事も」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

今シーズンも11月上旬、八丈小島に「クロアシアホウドリ」が降り立ちました。今年こそは上手く産卵が行われ、抱卵、孵化と順調に進んでほしいと思います。欲を言えば、1羽だけではなく、数羽の雛の姿が見られるととっても嬉しいですね。さらに、昨年フィーバーした「ザトウクジラ」の姿も目撃され始めました。昨年同様に島の周りで長期滞在し、ブロー（潮吹き）やブリーチング（ジャンプ）など迫力のある姿を島民だけではなく観光の方も観察できるといいですね。この冬は双眼鏡が必須アイテムかもしれませんよ。

さて今回は、「記録を少しずつ積み上げる」「新しく仲間入り？島のナナフシ事情」のお話です。

記録を少しずつ積み上げる

八丈ビジターセンターでは、八丈島の植物や鳥類、昆虫、海の生きものなど様々な生き物リストを過去の資料を元に作成しています。このリストはビジターセンターで行っている調査などで新しく見つかったものを順次追加しているため、毎年種数が増えています。特に鳥類に関してはデジタルカメラの普及により順調に種数が増えてきています。しかし、過去の資料では記録されているものの、ビジターセンターでは確認できていなかった鳥も少なくありません。昨年も何種類かビジターセンター初記録の鳥をこっこめ通信で紹介しましたが、11月に入ってさらに2種の鳥を確認したので紹介します。

「オオジュリン」を確認したのは11月5日。カシラダカやミヤマホオジロなどホオジロ科の鳥たちがいろいろと渡ってきていたので、他にも鳥が渡ってきていないかと探している時でした。南原スポーツ公園近くの残土置き場で、ホオジロにちょっかいを出されていました。山階鳥類研究所には1924年3月、1925年3月と4月に靱山徳太郎氏(*1)が採集した標本が残っています。また、高木真一氏(*2)により1984年(1985年?)11月にも記録されています。

「ツメナガホオジロ」は11月14日の朝、海岸沿いの道路の脇で確認しました。長旅をしてきたばかりなのか、とても疲れている様子でした。ツメナガホオジロも1924年10月に靱山徳太郎氏が採集、1984年(1985年?)10月に高木真一氏により記録されていました。

両種共に八丈島では極めて稀な旅鳥として記録されています。今回、撮影した日以降も周辺を探してみましたが姿を見ることはありませんでした。まさに一期一会の出会いと撮影でした。



*1 靱山徳太郎(1932) 日本産鳥類の新産地一束. 鳥7(33/34): 301-328.

*2 高木真一・伊藤正道・高木由美子・伊藤薫. 1986. 八丈島の鳥類2年間の記録. Strix 5: 74-79.

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

新しく仲間入り？島のナナフシ事情

11月10日、ビジタースタッフの家で「タイワントビナナフシ」の成虫が見つかりました。何故家の中で見つかったかは謎ですが、八丈島の初記録となります。自力で渡ってくるとは考えられない昆虫なので、卵や幼虫の時に何かに付いて島に来てしまったのではないのでしょうか。(今回のタイワントビナナフシは標本にしました。)

八丈島には「ニホントビナナフシ」「トゲナナフシ」「ハチジョウトガリナナフシ(以前の和名はハチジョウナナフシ)」の3種が見られますが、上記の「タイワントビナナフシ」で4種目のナナフシ目になりました。以前から知られていたハチジョウトガリナナフシ以外は外来種の可能性が高く、特にトゲナナフシに関しては昭和40年頃から様々な観葉植物(38科59種の記録)への加害が報告され、防除対策も施されています。ナナフシには単為生殖で増える種が多く、成虫が見つかった時には、すでに産卵し、増えている可能性もあります。タイワントビナナフシに関して、今後は目を光らせていかなければなりませんね。以下4種を紹介します。



タイワントビナナフシ

Sipyloidea sipylus (Westwood, 1859)

国内では、本州の一部、四国、九州、奄美群島、沖縄、八重山の一部などに分布、近年北へ分布を広げているようです。日本ではメスのみが確認され、単為生殖で増えます。後翅はピンク色で大きく、飛ぶことができます。夜行性で、キイチゴ類、フジ、ヌルデ、キクなどを食草としています。



ニホントビナナフシ

Micadina phluctainoides (Rehn, 1904)

分布は、本州(宮城県・石川県以南)、四国、九州、沖縄諸島など。伊豆諸島では神津島・新島・三宅島・御蔵島・八丈島で確認されています。オスもメスも見られ、共にピンク色の大きな後翅がありますが、メスは飛びません。ブナ科を食草としているので、島ではスダジイを食べていると思われます。



トゲナナフシ

Neohirasea japonica (de Haan, 1842)

分布は、本州(福島県以南)、四国、九州、奄美大島など。伊豆諸島では、神津島、三宅島、御蔵島、八丈島、八丈小島で確認されています。見られるのはほぼメス。体は褐色で多数の鋭い棘があり、翅はありません。島では数も多く、夏以降は夜間に外灯の下などで歩く姿をよく見かけます。



ハチジョウトガリナナフシ *Entoria* sp.1

分布は、八丈島とトカラ列島の中之島、悪石島、宝島だけです。他のトガリナナフシ属とは、卵蓋の中央の突起が大きいことや、オスの交尾器骨片の形状などから区別することができます。体はメスの方が大きく、オスは触角が長く、体がとても細いです。褐色のタイプと緑色のタイプがいます。

葛西重雄(1968). 八丈島動植物総目録に記録があります。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は11月13日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査(平成28年第11回)参加者:沖山三、沖山美、金田、永井、青木、VC菊池

NO.	和名(島名)	状態	NO.	和名(島名)	状態	NO.	和名(島名)	状態
草本			35	ノコンギク	花	19	マンリョウ	実
1	アオツツラフジ	熟した実	36	ノシラン	若い実	20	ヤツデ	蕾
2	アオノクマタケラン	実	37	ハキダメギク	花	21	ヤブツバキ	花咲き始め
3	アキノノゲシ	花	38	ハチジョウアザミ	花	22	ヤブニッケイ	熟した実
4	アシタバ	実	39	ハナイバナ	花と実	シダ植物		
5	アシボソ	実	40	ヒナギキョウ	花と実	1	アラゲヒメワラビ	
6	イヌタデ	実	41	ヒメジソ	実	2	ウチワゴケ	
7	イワニガナ	花	42	ヒメムカシヨモギ	花	3	オオイタチシダ	
8	ウスベニニガナ	花と実	43	フウトウカズラ	実	4	オオタニワタリ	
9	エダウチチヂミザサ	実	44	ブラジルコミカンソウ	花と実	5	オニヤブソテツ	
10	オオバコ	実	45	ヘクソカズラ	実	6	カニクサ	
11	オニタビラコ	花と実	46	ベニバナボロギク	花	7	シチトウハナワラビ	栄養葉だけ
12	オヒシバ	実	47	メヒシバ	実	8	タチクラマゴケ	
13	カタバミ	花と実	48	メリケンカルカヤ	実	9	タチシノブ	
14	カラムシ	実	49	ヤブマオ	実	10	タマシダ	
15	カリマタガヤ	実	木本			11	ナチシケシダ	
16	コセンダングサ	花と実	1	アオキ	実	12	ノキシノブ	
17	コナスビ	花と実	2	イヌビワ	実	13	ハカタシダ	
18	コニシキソウ	花と実	3	エノキ	実が残る	14	ハチジョウカナワラビ	
19	コミカンソウ	花と実	4	オオバヤシャブシ	実	15	ハチジョウシダ	
20	シチトウスミレ	実	5	オオムラサキシキブ	実	16	ハチジョウベニシダ	
21	シマササバラ	実	6	ガクアジサイ	実	17	ハマハナヤスリ	
22	ススキ sp.	実	7	カラスザンショウ	実	18	ヒトツバ	
23	スズメノカタビラ	花	8	サカキカズラ	実	19	ホシダ	
24	センニンソウ	若い実	9	シマクサギ	実	20	ホラシノブ	
25	タケダグサ	花	10	シマモクセイ	花咲き残り	21	マメツタ	孢子葉目立つ
26	タネツケバナ	花と実	11	スイカズラ	実	22	ミゾシダ	
27	チヂミザサ	実	12	テイカカズラ	実	23	ヤマイトチシダ	
28	ツユクサ	花	13	トベラ	実	24	ワラビ	
29	ツルソバ	花と実	14	ハゼノキ	実	今回はシダ植物22種を含む95種の植物を観察しました。		
30	ツワブキ	花咲き始め	15	ハチジョウキブシ	花芽			
31	テリミノイヌホオズキ	花と実	16	ヒサカキ	蕾			
32	トウバナ	実	17	ヒメユズリハ	熟した実			
33	トキワハゼ	花	18	ホルトノキ	実			
34	ナキリスゲ	実						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、迷蝶「キタテハ」にスポットを当ててみたいと思います。



キタテハ

Polygonia c-aureum

鱗翅目タテハチョウ科。北海道(西部以南)、本州、四国、九州に分布しています。伊豆諸島では、伊豆大島、新島、式根島。

八丈島では、秋に稀に記録されていますが、11月5日に八丈小島でも確認されました。左の写真は2012年11月1日に永郷富士山線のアザミの上で撮影したものです。

2016 12

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 ガイドウォーク
	この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります			07:13 00:25 18:06 12:37	07:47 00:56 18:36 13:10	08:23 01:30 19:08 13:45
4 ガイドウォーク	5	6	7 大雪	8	9	10 ガイドウォーク
09:03 02:05 19:44 14:27	09:48 02:44 20:29 15:19	10:40 03:29 21:31 16:30	11:40 04:50 23:06 17:58	12:41 05:34 19:19	00:58 06:53 13:38 20:22	02:31 08:10 14:28 21:14
11 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	12	13	14	15	16	17 ガイドウォーク
03:42 09:16 15:14 22:01	04:41 10:13 15:58 22:47	05:34 11:04 16:41 23:32	06:23 11:51 17:23	07:09 00:16 18:05 12:36	07:54 00:59 18:47 13:21	08:36 01:42 19:30 14:05
18 ガイドウォーク 冬の特別行事 「リースを作ろう」	19	20	21 冬至	22	23 ガイドウォーク 冬の特別行事 「小さなツリーを作ろう」	24 ガイドウォーク 八丈学講座 「石碑を読もう」
09:18 02:23 20:13 14:53	09:59 03:03 21:02 15:47	10:43 03:44 22:04 16:55	11:31 04:29 23:34 18:18	12:26 05:24 19:38	01:27 06:37 13:23 20:38	03:00 07:59 14:15 21:23
25 ガイドウォーク	26	27	28	29 ガイドウォーク	30 ガイドウォーク	31 ガイドウォーク
04:14 09:07 14:59 22:01	04:46 09:59 15:38 22:35	05:23 10:41 16:13 23:08	05:57 11:18 16:47 23:40	06:30 11:51 17:20	07:02 00:12 17:53 12:25	07:35 00:45 18:27 12:58

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！

12/11 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名

特別行事

「リースを作ろう」

毎年恒例、島の自然素材を使っているいろいろなリースを作りましょう！

12/18 (13:30～ 約1時間半) 小学生以上 (1～3年生は保護者と一しょにひとつ)
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

特別行事

「小さなツリーを作ろう」

マツボックリとビーズを使って、小さなクリスマスツリーを作ります。

12/23 (13:30～ 14:45の間に受付をしてください) 15分ほどで完成する行事です
ビジターセンターにて 参加費：無料 定員：70名 だれでも

八丈学講座

「石碑を読もう」

西山ト神居記碑の拓本を使い、石碑に書かれていることを読み解きます。

12/24 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名

年末年始特別行事

「体験八丈太鼓」

ビジターセンターの年末年始といえこれ！ 太鼓たたけばストレスも吹き飛びますよ！

12/29～1/3 (13:30～ 16:45) いつでも・だれでも・無料
て～こ、はたきにおじゃれ！

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2016.12.1 第187号

開館時間 9:00～16:45 年中無休 (入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

E-mail：info@hachijo-vc.com

http://www.hachijo-vc.com

編集後記

以前から島にいたのに見つけられなかった初記録。新しく入ってきてしまった初記録。同じ初ですが「みつけた！」と「みつけちゃった！」と喜びが違います。「みつけちゃった」生き物が、今後、増えて(繁殖も種数も)いかにしなければいけないですね。(高)